

茨城県日立市立大久保小学校（学校長 春山 武聖）

実施日	平成19年10月1日（月）	時間	午前10時10分～午後1時
実施場所	視聴覚室，教室，体育館	対象/人数	6年生 123名
担当教諭	小林 睦	ファシリテーター	根本 久美子
講師	ジョナサン・マイケルズ（アメリカ・県国際交流員） アンバー・チャン（オーストラリア・県国際交流員） 周 悦（中国・留学生） ラビンダラ・ジャヤセカヤ（スリランカ・留学生）		

活動内容

- 10：30～11：35 講師紹介・お国自慢
- 11：45～12：10 世界のことを考えるワークショップ（ハートゲーム）
- 12：10～13：00 給食

児童の感想

- ・本日は、ワールドキャラバンのために大久保小へ来て頂き、ありがとうございました。とても勉強になりました。私は、学校のことはもちろん、できれば祭りのことも知りたかったです。でも今日は中国の服を着させていただいたり、グランドキャニオンの写真を見せていただいたのは、とてもうれしかったです。根本さんもいろんな国との交流はいいことだということを教えてもらえたのもよかったです。また、これならいつでもきてください。もう一度あえることを望んでいます。（6年3組 K）
- ・今日は、スリランカのこといろいろと教えて下さって、ありがとうございました。ぼくは、スリランカの話聞いて、ビックリしました。ゾウが道を歩いたり、すぐそこに毒ヘビがいたりとすごいなと思いました。あとカレーのこともおどろきました。カレーの材料を見せてもらったときに、カレーのにおいがしておいしそうでした。きかいがあったらカレーを食べたいと思っています。今日は、ほんとうにありがとうございました。（6年3組 Y）

先生の感想

- ・児童は、英語活動の時間に、アメリカ人、イギリス人のALTとふれあう機会があるが、英語圏以外の国の人から直接話を聞いたり、何かを一緒にすることはほとんどなかった。今回は、アメリカ、オーストラリア、中国、スリランカ出身の講師の方をお招きし、各国の文化や生活について話を聞いたり民族衣装などを着せていただいたりし、世界を身近に感じる貴重な体験をすることができた。異文化にふれる機会の少ない児童にとっては、特にアジア圏の文化を体験できたことはよかった。
- ・4人の講師の方は、国旗、写真、民族衣装など豊富な資料を用いてその国のことをわかりやすく説明して下さり、児童は興味深く話を聞くことができた。さらに、世界を考えるワークショップでは、世界の人々が平和に生活で

きるようにするためには、考えたことを行動に移すことが必要であることを考えることができ、貴重な体験となった。

成果と課題

- ・講師の方々が、分かりやすい具体物を数多く準備して下さったことで、自分と異なる文化や習慣に関心を持ち、楽しく交流を図ることができた。
- ・交流後、子どもたちは外国により多く興味を持つことができた。
- ・今後もこのような交流を生かした活動を年間計画の中に位置づけ、計画的に取り組んでいきたい。
- ・外国の方とふれあうことを通して、日本を見直す機会としてとらえ、総合的な学習の「伝えよう日立のよさ、日本のよさ」の活動に生かしていきたい。

